

令和5年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : 兵庫教育大学教育研究支援部研究推進課図書館チーム
3. 件名 : BLUE CLASS : SDGs を志向した野外ラーニングcommonsのデザイン
4. 結果 : 採択
5. 理由 : 本件は、兵庫教育大学附属図書館による BLUE CLASS と称する青空教室事業であり、主に学内の屋外緑地スペースを活用したラーニングcommonsでの諸活動である。

BLUE CLASS は Green、SDGs、DIY、Commons という 4 つのコンセプトのもとでトークライブ、ワークショップ等を行っているが、屋外緑地を中心としつつ企画によっては小学校や公園をも含む「場」にて、従来の図書館の行動範囲を超え、アートや DIY までをも含む多様な題材とゲストを通じた活動を企画し実施している。他大学のラーニングcommonsとは異なるユニークなコンセプトの下、空間的・人的に幅広い活動を展開しており、独創的意義を有していると言える。

さらに、このような実験的な側面を持つと同時に、いずれの活動においても例えば地元企業とのコラボレーション、美術教員や学生らとの協働、小学校で行うワークショップ等、図書館に閉じることなく大学・学校・地域を巻き込む形で行われており、図書館をハブとした連携がしっかりと実現されている。

BLUE CLASS のポスター、キャッチコピー、レイアウト、什器類等の「道具」、企画報告書のレイアウト等において、一貫してデザイン性を重視する姿勢が見て取れ、受け手に自分たちのコンセプトを伝えようという企画側の強い熱意が感じられる。

以上のことから、本件は、ビジョン 2025「知の創出：新たな知を紡ぐ＜場＞の提供」に係る取り組みとして、図書館イベントのあり方と今後の可能性を示唆している。また、図書館と図書館員の役割について広く社会の認識を高めたものと認められ、「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第3号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。なお、本事業が継続して実施され、さらにその成果が他の図書館等に共有・還元されることを期待する。